国自審第812号
国自整第94号
平成23年11月30日

社団法人 全日本トラック協会会長　殿

国土交通省自動車局
審査・リコール課長

整　備　課　長

冬期におけるトレーラのブレーキ引き摺りによる火災を
未然防止するための点検整備の注意喚起について（協力依頼）

平成23年1月に、国土交通省に対してトレーラの火災情報が4件寄せられました。これらの事案を調査・分析した結果、リレー・エマージェンシー・バルブ内に水分があると、気温の下がる冬期に水分が凍結し、当該バルブ内のピストンが固着することによりブレーキが作動し続け、ブレーキの引き摺りが発生して火災に至ることが判明しました。また、再発防止対策として、リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分を除去するための点検整備が有効であることがわかりました。

つきましては、あらゆる機会をとらえ、ユーザー等に対して下記事項について、注意喚起を行うように貴会傘下会員に対し周知方お願いします。

記

1．法律に定められた点検整備を確実に実施すること。
2．冬期においては以下に掲げるブレーキ機器の点検整備を徹底すること。
(ア) エア・タンク内の水分の有無の点検及び除去※
※エア・タンク内に凝水がないことの確認は法定点検項目です。
(イ) エア・ドライヤの点検整備（乾燥剤やフィルターなどの定期交換等）
(ウ) リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分の有無の点検及び除去
3．その他、トレーラ製作者の整備要領等に従って点検整備を確実に実施すること。

平成23年11月30日

「冬期におけるトレーラのブレーキ引き摺りによる火災を未然防止するための点検整備の注意喚起について」の送付について

標記の件につきまして、通知文を送付いたしますので、よろしくご査収下さい。なお、本件については下記のとおり国土交通省において報道発表を行っておりますので、併せてお知らせいたします。

○国土交通省報道発表資料
http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha08_hh_000959.html

ご質問等がございましたら、下記連絡窓口までお問い合わせ下さい。

（連絡窓口）
国土交通省自動車局
審査・リコール課　徳永
TEL　代表　03-5253-8111
（内線42-355）
E-mail ： tokunaga-h2iu@mlit.go.jp

Press Release
国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成23年11月30日
自　動　車　局

冬期におけるトレーラのブレーキ引き摺りによる火災にご注意下さい

○ 概要

平成23年１月に、国土交通省に対してトレーラの火災情報が４件寄せられました。これらの事案を調査・分析した結果、リレー・エマージェンシー・バルブ※1内に水分があると、気温の下がる冬期に水分が凍結し、当該バルブ内のピストンが固着することによりブレーキが作動し続け、ブレーキの引き摺りが発生して火災に至ることが判明しました。これらを受け、今般、一般社団法人日本自動車車体工業会（以下、「車工会」という。）から、ホームページへの注意喚起の掲載やチラシ（別紙１）の配布等により、点検整備について注意喚起を実施するとの報告がありました。

国土交通省においては、気温が低下する冬期を迎えるにあたり、以下に掲げる事項について、社団法人全日本トラック協会などの自動車関係団体及び地方運輸局に対して注意喚起に関する協力依頼を行うとともに、広くユーザーの皆様にお知らせするため、国土交通省のホームページにおいて、当該不具合に係る注意事項を掲載しましたのでお知らせします。

【冬期のトレーラ火災の未然防止に関する注意事項】
１．法律に定められた点検整備を確実に実施すること。
２．冬期においては以下に掲げるブレーキ機器の点検整備を徹底すること。
（ア）エア・タンク※2内の水分の有無の点検及び除去※
※エア・タンク内に凝水がないことの確認は法定点検項目です。
（イ）エア・ドライヤ※3の点検整備（乾燥剤やフィルターなどの定期交換等）
（ウ）リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分の有無の点検及び除去
３．その他、トレーラ製作者の整備要領等に従って点検整備を確実に実施すること。

※1　リレー・エマージェンシー・バルブとは、トラクタ側からトレーラ側に圧縮空気を供給するとともに、トラクタ側からの圧縮空気の供給が停止し、ブレーキが作動しない場合にトレーラ側の非常ブレーキを作動させるためのバルブ・弁のこと。
※2　エア・タンクとは、トラクタ側から供給される圧縮空気を蓄積するタンクのこと。
※3　エア・ドライヤとは、圧縮空気に含まれる水分の乾燥、フィルタにより不純物の除去を担う乾燥器のこと。

【注意喚起掲載ホームページ】
・ 日本自動車車体工業会　http://www.jabia.or.jp/index.php（ユーザーの皆様へ）
・ 国土交通省　http://www.mlit.go.jp/RJ/（自動車を安全に使うためには）

（お問い合わせ先）
国土交通省自動車局審査・リコール課　衣本（きぬもと）、徳永
TEL:03-5253-8111（内線42353、42355）03-5253-8597（直通）
整備課　小松崎、湯原
TEL:03-5253-8111（内線42412、42415）03-5253-8599（直通）

○ 経緯

・ 平成 23 年１月に、国土交通省に対してトレーラの火災情報が４件寄せられました。

・ これらの事案を調査・分析した結果、リレー・エマージェンシー・バルブ内に水分があると、気温の下がる冬期に水分が凍結し、当該バルブ内のピストンが固着することによりブレーキが作動し続け、ブレーキの引き摺りが発生して火災に至ることが判明しました。

・ また、再発防止対策として、リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分を除去するための点検整備について注意喚起を実施することが有効であることがわかりました。

・ これらを踏まえ国土交通省は、車工会及び一般社団法人日本自動車工業会（以下、「自工会」という。）に対し、市場でのトレーラの火災事故を防止するため、冬期に入る前に注意喚起を行うなどの取組みを行うことについて検討を依頼していたところです。

・ 当該依頼を受けて、今般車工会より、自工会と連携して検討した結果、平成 23 年 11 月 30 日から車工会のホームページへの注意喚起の掲載やチラシ（別紙１）の配布等により、トレーラのエア・タンク内の水抜き、エア・ドライヤの乾燥剤やフィルタの定期交換等の点検整備及びリレー・エマージェンシー・バルブの水分除去等のための点検整備について注意喚起を実施するとの報告がありました。

・ 国土交通省においても、気温が低下する冬期を迎えるにあたり、前頁に掲げる事項について、自動車関係団体及び地方運輸局に対して注意喚起に関する協力依頼を行うとともに、国土交通省のホームページにおいて、当該不具合に係る注意事項を掲載しました。

平成２３年１２月

トレーラをご使用のお客様

【冬場に向けたトレーラの点検整備の重要なお願い】

“トレーラのブレーキ・バルブ凍結による車両火災に注意”
パンフレット送付のご案内

拝啓　ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

平素はトレーラをご愛用いただきありがとうございます

標題の件、日本自動車車体工業会から、トレーラをご使用のお客様へ冬場に向けて重要なお願いのパンフレットを発行しましたので、拝送いたします

・ブレーキ機器が凍結すると非常に危険な状態になります。凍結を防止するためにエア・タンクからの水抜きを励行すると共に、特に冬期に入る前にブレーキ機器の点検整備を行い、ブレーキ用・エア内に含まれてる水分の除去を行ってください。

詳細はパンフレットをご覧いただき、ブレーキ機器の点検整備について、専門のサービス工場（認証工場）で受けていただくようお願いいたします

敬具

一般社団法人　日本自動車車体工業会
トレーラ部会　サービス委員会

トレーラのブレーキ・バルブ凍結による車両火災に注意

❄❄❄ブレーキ機器の水分除去のお願い❄❄❄

ブレーキ機器が凍結すると非常に危険な状態になります。凍結を防止するためにエア・タンクの水抜きを励行すると共に、特に冬期に入る前にブレーキ機器の点検整備を行い、ブレーキ用エアに含まれている水分の除去を行ってください。

トラクタとトレーラのエア・タンクからの水抜き

エア・タンクからの水抜きは、道路運送車両法で使用者または運行する人により日常（運行前）点検することが義務付けられており、車両を安全に運行するために非常に重要なことです。

エア・ドライヤを装着した車両においても水抜きを励行し、車両の安全な状態を確保してください。

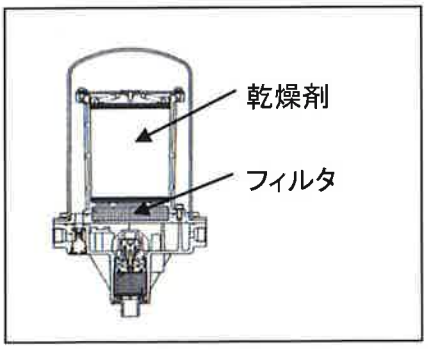
※エア・タンクから多量の水分が排出されるときは、エア・ドライヤの機能が低下している可能性があります。

トラクタのエア・ドライヤの点検整備

ブレーキ用エアに含まれる水分は、ブレーキ機器の潤滑油を洗い流して作動を妨げ、冬期においては凍結して作動不良になる危険性があります。これらの問題を解決するためトラクタにエア・ドライヤが装着されていますが、性能を維持するためには定期的な点検整備が必要です。

乾燥剤やフィルタなどの交換時期等については各トラクタ・メーカの取扱説明書やメンテナンス・ノートに従ってください。

エア・ドライヤの例



エア・ドライヤ内部構造（交換部品）例

一般社団法人　日本自動車車体工業会　トレーラ部会

トレーラ　リレー・エマージェンシ・バルブの点検整備

リレー・エマージェンシ・バルブはトラクタから送られたブレーキ用エアをコントロールし、トレーラ各輪のブレーキを作動させる重要な機能を有しています。

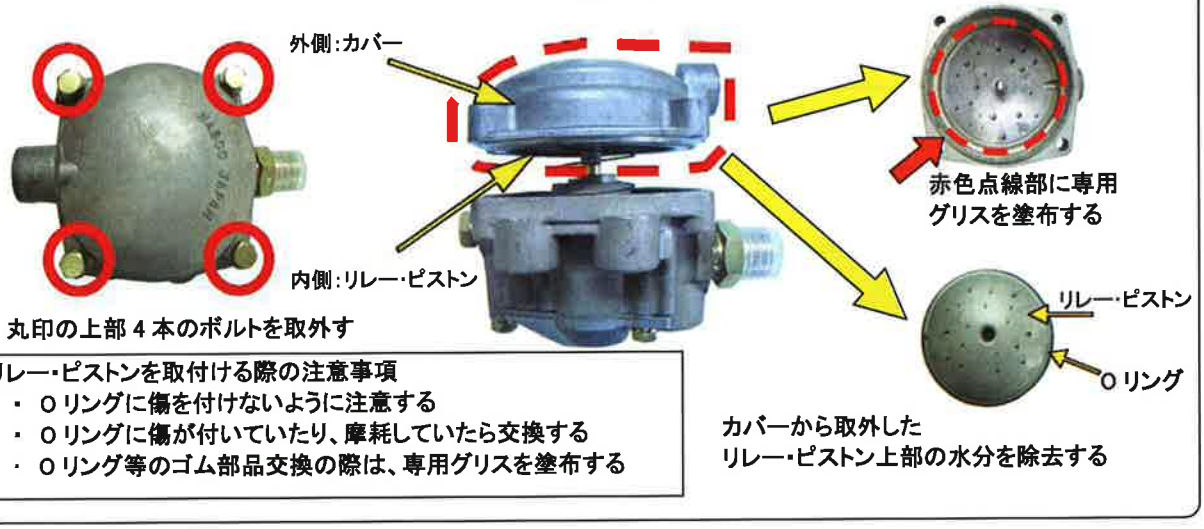
ブレーキ用エアに水分や埃が含まれているとブレーキ機器の作動を妨げ、さらに凍結すると作動不良となり危険な状態になります。**そのため、冬期に入る前には凍結防止のため必ず点検整備を行い、水分の除去および清掃を実施してください。**

リレー・エマージェンシ・バルブの点検整備要領

詳細については各トレーラ・メーカの取扱説明書やメンテナンス・ノートに従ってください。

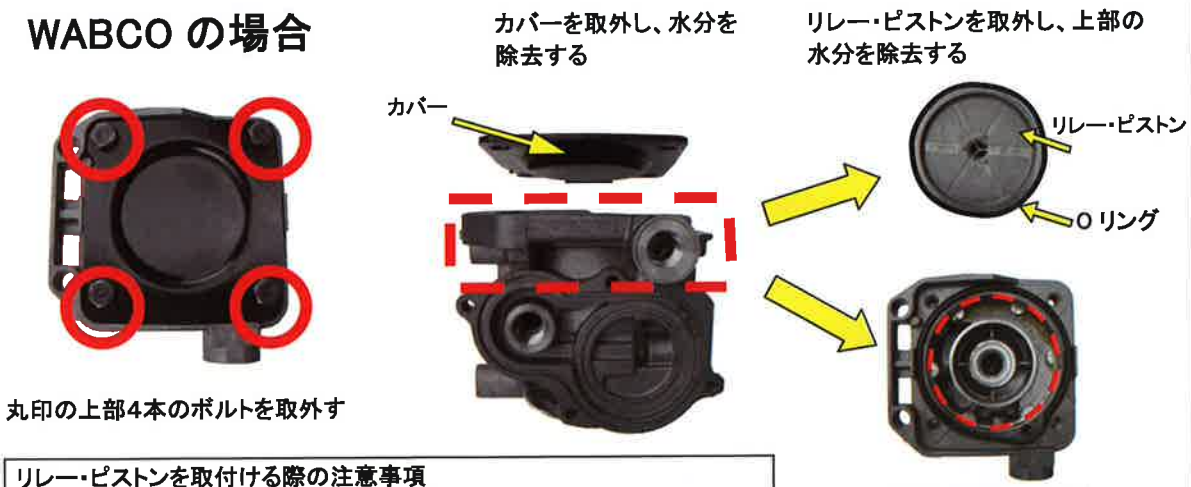
※ブレーキ機器の点検整備は、専門のサービス工場（認証工場）で受けてください。

Nabtesco の場合



リレー・ピストンを取付ける際の注意事項
- O リングに傷を付けないように注意する
- O リングに傷が付いていたり、摩耗していたら交換する
- O リング等のゴム部品交換の際は、専用グリスを塗布する

WABCO の場合



リレー・ピストンを取付ける際の注意事項
- O リングに傷を付けないように注意する
- O リングに傷が付いていたり、摩耗していたら交換する
- O リング等のゴム部品交換の際は、専用グリスを塗布する

一般社団法人　日本自動車車体工業会　トレーラ部会